

令和6年度 茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会

2月定例会 議事録 【概要】

1 日 時	令和7年2月12日（水）午後1時30分～午後3時30分
2 場 所	市役所本庁舎4階 会議室1
3 出席者	三觜会長、林副会長、高山副会長、雫石会計、前田監事、篠原監事 越川善雄、森章雄、丸山泰、岡崎敏一、南栄美子、吉野浩二、木下操、貴島義夫、 森繁、細田勲、三浦一浩、渡邊勇次、朝倉哲男、金子芳郎、鈴木健司、長嶋憲治、 村越安芳、石井義雄の各委員（欠席：城田委員、石井委員） 市民自治推進課（三浦課長、竹井課長補佐、杉本主事、片原主事） 事務局（高木）
4 会議の経過	事務局より、26名のうち24名が出席ということで、本会議が成立することを報告。
（1）あいさつ 三觜会長	
（2）行政からの依頼事項について ①令和7年度①環境指導員の推薦②集積場所維持管理協力手数料③分け方・出し方、収集カレンダーの配布について（環境事業センター案件） 【市民自治推進課より説明】 ・①令和7年度は環境指導員の2年任期の2年目になる。変更がある場合のみ推薦書の提出をお願いしたい。変更がない場合は提出不要。「環境指導員活動の手引き2025」は、2024年と中身は変わらないので、指導員の変更があった場合のみ、その方にお渡しする。 ・②集積場所維持管理協力手数料について、書類の提出をお願いしたい。令和7年度の自治会長が提出期限の4月1日時点で決定していなければ、環境事業センターに連絡をお願いしたい。 ・③分け方・出し方、収集カレンダーの配布について、若干の内容修正はあるものの、配布時期は例年どおりで、広報紙3月1日号とともに配布をお願いしたい。 ・①、②は自治会長に送られ、③は、回覧担当者へ送られる。	
②令和7年度国勢調査員募集に係る回覧配布の依頼について 【行政総務課より説明】 ・令和7年国勢調査員の募集チラシの回覧配布の協力依頼。募集期間は3月3日から5月30日。2月17日付けで、回覧担当者に送られる。広報紙3月1日号とともに配布をお願いしたい。8月には、調査実施に伴うご理解とご協力を賜る旨、自治会長にお手紙を送付する。 【意見】 ・自治会を通してチラシ配布とのことだが、未加入者世帯への対応はどう考えているか。 ・自治会長がとりまとめる必要はあるのか。 ・募集数が多く出た場合、調査員の選出はどうするのか。 ・実際に活動する期間を詳しく教えていただきたい。 ・報酬について質問が出ると思うが、詳しく教えていただきたい。 【行政総務課より回答】	

- ・自治会未加入世帯には、市のホームページ、広報紙3月1日号、ラインやツイッター等のSNS、各公共施設にチラシと募集用紙を置き、広く周知していく。タウンニュース3月7日号にも記事を掲載する予定。
- ・申し込みは、QRコード、窓口や郵送で提出ができる。質問は行政総務課で対応するよう手配している。
- ・募集数1400名であるが、前回はコロナ禍ということもあり750名程、前々回は1100名以上はいたが、これだけの人数を集めることはなかなか大変なのでご協力いただきたい。
- ・調査員の活動内容と期間については、8月から9月上旬にかけて説明会に出席。9月上旬から中旬に実際に担当する調査地域の確認。9月下旬に調査票を配布。調査期日が10月1日なので、それに間に合うように配布していただく。今は、インターネットと郵送での回答がほとんどなので、調査票の回収はほぼない状態。
- ・平均的報酬は、2調査区で9万5千円。1調査区だと5万円程、3調査区では14万円程。配布期間は限られているので、4調査区が限度と思う。多く世帯を回っていただいた方に多く報酬を支払う仕組みになっている。

③「青少年指導員だより」第104号の回覧依頼について（青少年課案件）

【市民自治推進課より説明】

- ・「ちがさき青少年指導員だより第104号」の回覧配布の協力依頼。広報紙3月1日号とともに配布をお願いしたい。回覧担当者に直接青少年指導員が持っていく。自治会長には、この通知文が届く。

④美化キャンペーンクリーン茅ヶ崎の開催について（環境保全課案件）

【市民自治推進課より説明】

- ・美化キャンペーンクリーン茅ヶ崎が6月1日に開催される。広報紙5月1日号に記事が掲載される。チラシは、自治会長に回覧数を分けた状態でお渡しする。地区定例会で市民自治推進課の地区担当職員がお渡しするが、タイミングが合わなければ環境保全課が別の形でお持ちする。
- ・昨年は、前日に雨が降り、開催の有無が微妙だったにも関わらず、ホームページの情報提供がうまくできなかった。今回は、開催の有無に関わらず、前日の午後5時頃に情報発信するとのこと。

【意見】

- ・海岸沿いは浸食がかなり進んでいて、せっかくのキャンペーンだが、今後の課題も残っている気がする。
- ・開催の有無が、ホームページを見てもわからなかったという状態にならないようにだけしてもらいたい。周知の仕方をもう一度確認していただきたい。
- ・当日の朝に防災無線を流したらどうか。

【市民自治推進課より回答】

- ・4月に地区担当者がチラシをお持ちし、広報紙5月1日号で記事掲載し、前日の午後5時に開催の有無をホームページに載せる周知方法だが、5月の定例会でお伝えするかは担当課に確認しておく。
- ・防災無線は、放送内容についてルールがあるので、防災対策課に確認してみる。

（3）議題

①会報誌 No. 11 について

【高山広報部会長より説明】

・各地区の皆様のご協力により、会報誌 No. 11 の原稿ができあがった。A4 サイズに記事を 2 地区ずつ、写真を大きく、文字数は適宜にして、非常に見やすいと思う。 ・「みんなで助け合い、支え合う地域づくりのために」というタイトルで、まちちからがどんな活動をしているのかを見ていただき、また、ぜひ一緒に活動しましょうという思いで作成した。 【事務局より説明】 ・今後のスケジュールについては、細かな文字の修正等を行い、市内の印刷業者へ発注。自治会毎に仕分けしたものを、13 地区の指定場所に配送する。3 月 19 日頃を予定。
②先進都市視察研修について 【事務局より説明】 ・10 月の先進都市視察研修について、参加者 20 名のうち 14 名の方からアンケートの回答をいただいた。 ・「視察先」、「視察テーマ」については、概ね適切だったとの評価をいただいている。自由記載では、今後の取り組み方についてもご意見をいただいている。 ・来年度以降の視察に関しては、個人負担額や「研修内容による」も含めて、ほとんどの方から「視察研修を続けた方がいい」という意見をいただいた。 ・令和 7 年度の視察に関しては、個人負担をしていただいたうえで実施する方向で進めていきたいが、補助金の予算に関しては 3 月に決定するものの、この視察に関しては補助金がつかない見込み。どういうやり方で実施するのかについては今後検討していくが、令和 8 年度以降は、予算確保のため視察の目的と場所を決め、予算見積により予算要求をしていく。 【会長】 ・アンケートを踏まえ、視察は実施していく方向で、目的と場所はしっかりと決めておかないと予算確保はできない。 ・年度当初には方向を決めて皆様のご賛同をいただき、都度経過報告はしていきたい。
③その他 【事務局より説明】 ・新年賀詞交歓会の収支報告。 ・1 月定例会の議事録。 ・犯罪発生状況の資料。自転車盗難や詐欺は変わらず発生件数が多い。各地区町名も載せてあるので役立ててほしい。 ・ホームページはリニューアルに向けて作業中。トップページの整理、機能アップを詰めている。各地区でのイベントやチラシのデータがあれば、事務局に連絡いただければトップページの「今月のトピックス」に載せたいので連絡してほしい。 【意見等】 ・赤松町で自動車盗難があり、GPSのおかげで車だけは戻ってきた事件があった。 【会長】 ・凶暴な強盗等、今までには考えられない犯罪が増加している。各地区や各自治会で対応を考える必要がある。

【各地区より配布資料および地域活動の報告】

【鶴嶺西地区】

・「コミセンニュース」配布。2月16日に豚汁を作る。サロン活動や子ども食堂もやっている。アルバックから自治会の皆様にとことで飲み物等をいただいたりして、それを配布したり、野菜を配布したりしている。

・色々な行事をやっているの、皆様にも来ていただきたい。

【浜須賀地区】

・「まちのちからニュース」配布。一定のコンセプトを持って編集をしている。今回は高齢の方の集いを特集した。「ふれあい昼食会」は、高齢の方に集まっていただき、余興もあり、体操をしたり、楽しい時間を過ごした。今後も特集を記事にし、編集を進めていきたい。

【松浪地区】

・2月15日に松浪コミセン10周年記念行事を行う。餅つきをしたり、けんちん汁を作る予定。皆様にもお越しいただければと思う。

【市民自治推進課】

・協働担当が支援しているサポートセンターのチラシ紹介。

・「こどたん+（プラス）」は、市内の子どもたちに市内のボランティア活動を知ってもらい、興味を持ってもらえるように開催している。

・「茅ヶ崎ミライトーク」は、市民活動団体と、市長、両副市長と茅ヶ崎の未来について語り合うイベント。

・サポートセンターには、様々な資料があり、様々な団体も交流しているので、ぜひ見に行ってみよう。

【委員】

・各地区で、来年度の事業計画を進めていると思うが、今年度は防災訓練や賀詞交歓会の日程が、他地区と重なってしまうことがあった。年度途中の変更は、すでに場所や日程を組んでいて対応に苦慮するので、市民自治推進課の地区担当者間で情報のすり合わせをしていただきたい。

【最後に】

・コミセンの施設管理運営の仕方等に関し、各地区の現状や課題について意見交換があった。

（５）閉 会 林副会長